

独立行政法人国立病院機構
松江医療センター
呼吸器病センター
 〒690-8556
 松江市上乃木5丁目8-31
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019
<https://matsue.hosp.go.jp/>

発行責任者
 院長 中島 健二
 編集者
 事務部長 松本 良一



八重垣神社

八岐大蛇を退治したことで非常に有名な素盞鳴尊（スサノオノミコト）とその妻である稲田姫命（クシナダヒメ）が主祭神で松江市内の古社・名社の一つです。



平成31年(2019年)「新年のご挨拶」……………2
 教育研修部コラム「高嶺の月」を見ているか ……3
 トピック：診療看護師 ………………4
 第72回 国立病院総合医学会に参加して ……5
 第9回 松江呼吸器セミナー ………………6
 「第153回肺疾患懇話会 特別講演会」開催 ……6～7
 火災避難訓練実施 ………………7
 クリスマスコンサート ………………8
 車いすサッカー ………………9

松江を駆ける ………………9
 転倒防止 ………………10
 インフルエンザ対策でできること ………………10
 出前講座のご案内 ………………11
 開業医紹介コーナー ………………12
 地域医療連携室だより ………………13
 国内最大級の病院ネットワーク ………………14～15
 外来診療表 ………………16

基本理念 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。





平成31年(2019年)「新年のご挨拶」

院長 中 島 健 二

新年あけましておめでとうございます。皆様にはそれぞれの希望や期待を持って新年を迎えられたことと存じます。まずは、今年の皆様のご健勝を祈念したいと思います。

2018年はいろいろなことがありました。全国的に、島根県西部や大阪・北海道などの地震、豪雨による平成最悪とされる水害、さらに台風や寒波などの自然災害がありました。猛暑もあり、その影響を受けた病院もあったようですが、当院もエアコン装置に故障が起きました。病棟の室温管理や、夜間に行われたエアコン装置の修理など、多くの職員や関係者の方々の努力に助けられながら対応できました。ここに改めて、関係の皆さんに感謝申し上げます。

当院は政策医療に取り組み、呼吸器疾患と神経難病や筋ジストロフィー・重症心身障がいなどに関する医療を提供しています。呼吸器系に関しては、「呼吸器病センター」として呼吸器疾患全般を対象に診療を進めています。昨年の1月から呼吸器外科は医師3名体制になり、肺癌を中心に手術件数が増加してきています。また、「気胸ホットライン」を開設し、気胸の患者さんの入院も増加しています。4月から放射線診断専門医である田邊先生に赴任して頂き、当院の放射線画像診断診療も充実してきています。秋には、肺炎などの呼吸器内科に入院されている患者さんも増加しました。一方、慢性期の神経系診療にも取り組んでおり、神経難病患者さんの入院も増加してきています。このような状況もあり、病院全体の10月の平均入院患者数

は309.3人（結核を除いた当院病床数：328床）となって近年で最高の入院患者数であり、増加する入院患者さんの診療に職員が皆で力を合わせて取り組んでいます。

ところで、今年が平成最後の年として新年を迎え、5月1日に新しい元（年）号になります。その際、10連休にて改元ということになりますが、この10連休という状況も予想しにくいように感じています。一方、今年（2019年）は十干が己（つちのと）、十二支が亥（いのしし）であり、干支は己亥（つちのとい）となるようです。亥年は十二支の中で最後の年になることで、実った果実が種子となってエネルギーを蓄えて次に向かう準備をする年という意味があり、次に向けた準備期間としての年でもあるようです。

国立病院機構では機構各病院の経営改善に向けての対応を強く求めてきており、その取り組みも徐々に効果が上がってきています。当院の基本方針には「健全な病院経営を推進」することも挙げられており、地域に信頼される医療の推進のためにも職員全員が一丸となって取り組んでいく必要があります。入院患者数の増加もみられ、当院の経営改善への取り組みの効果も上がってきています。今後の発展を目指したさらなる当院診療体制の充実に向けて、その準備を進めていく必要もあろうかと思っています。

皆様方には、一層のご支援・ご尽力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



～ 教 育 研 修 部 コ ラ ム ～

「高嶺の月」を見ているか

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

あけましておめでとうございます。2019年。平成31年。平成という一つの時代が今年で終わります。そんな節目の年の幕開け！みなさんにとって良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

さて、「一年の計は元旦にあり」。お正月はこの一年何をするか？と計画してみたり、今年こそ頑張ってみよう！などとモチベーションが上がる時期の一つです。かくいう私も年末には次の年の計画を立てて手帳に記し、年明けの仕事始めの日にはその年間計画を眺めているような思いを巡らせます。記したその一年でやりたいことが叶うように少し小分けにして、さらにそれを月間ごとの目標に小分けし…てそんなことを毎年やっています。まあしかし思い通りにはまず行きません。特にここ数年その傾向が強いのです。計画以外の仕事や依頼がドカドカと入ってくることも原因ではありますが、おそらく一年の計画である大目標のベースというかコンセプトみたいなものがあやふやになってきているためにこうなってしまうでしょう。私を悩ませていることの一つです。

「分け登る 麓の道は多けれど 同じ高嶺の月を見るかな」

そんなところに最近知ったこの歌。一休さんでおなじみの一休宗純（一休禅師）の作。ああ、これだと思いました。見るべきは「高嶺の月」なのだと。「高嶺の花」ではありません。これは“見えてはいるが手の届かないもの。とうてい自分のものにはできないもの”の例えですから…。工程が進まないことにイライラしても仕方がない。やはり真っ直ぐに進んで行きたいけれど、結局高いところにある「月」が見えていてそこに向かって行っているのなら少々の回り道は許容すれば良いのだと。最

近自分が見ているのは朧月。クリアな満月ではない。これが多分良くない。計画以外のいろんなものが入りこんできて自分の（頭の）中がchaos状態となって訳分からなくなる時があります。しかしそのchaos状態から抜け出せた時には、“途中で入りこんできた”仕事もけて無意味ではなかったことに後から気づくことも多いのです。まあもちろんサボってもいいということではありませんが、藤原道長の言う“欠けたることのない望月”的な「高嶺の月」が見えている状態ならよし。その状態で山を登っていればそれでいいのだろと思うようになりました。まさにこの歌を知ることで気持ち的に“一休み”できたのです。一休さんありがとう。ただしこれは個人レベルでの「月」の話。

昨年12月の第9回松江呼吸器セミナーは「終末期呼吸不全とQOL」というテーマで開催いたしました。そこでコンセプトとした言葉は“絵を描くこと（Draw a picture.）”でした。このような厳しい状態においては患者さんやご家族に治療経過やその後の見込み、考えうる治療の選択肢などを示し、話し合いを繰り返しながら前を向いていく必要があります。そのことを“絵を描く”という例えを使って講演の中で示しました。医療者側と患者さん側のコミュニケーションを続けていくこと、患者さんやご家族がHappyになれるには、「絵を描く」ことは言うまでもなく極めて重要です。「絵」が目標となるという意味において、この「絵を描くこと」は「高嶺の月」と同義であると考えます。みんなで綺麗な「月」を見れていればみんなHappyになれる、はず。

「月」の話は組織論としても適用可能です。チームで仕事をする、小さくても大きくても組織を運営する

ということはこの「月」をみんなに示すこと。登り口は異なっていたとしても、「月」があれば高嶺には行けるでしょう。登ることは容易でないとしても同じ「月」が見えていたらその言語は共通となるでしょう。教育研修部はみなさんが同じ「月」を見られるように日々精進しなくてはなりません。それにはまゝ私自身さらなる精進が必要だと思います。今年も自分の身にはなんだかんだやってくるようですがいろんなものをかいくぐりながら「高嶺の月」を目指していきたいと思っています。

一休宗純はこうも言ったと伝えられています。

「心配するな、なんとかなる。」

なんやかんや考えながらも楽観的思考はいつの世も大事なようです。最後にもう一度。みなさんにとって今年が良い年でありますように。今年も教育研修部をよろしくお願いいたします！

トピック：診療看護師

診療看護師 中村 光太



いつもお世話になっています。統括診療部で診療看護師：JNP（Japanese Nurse Practitioner 以下JNP）として臨床研修中の中村光太と申します。

前々回の宍道湖では「JNPとはどのような職種か」ということを書かせていただきました。今回は時々質問を受ける「特定行為」について説明します。

看護師は「診療の補助」と「療養上の世話」を主な業務としています。前者に関しては「医師の具体的な指示」を受けて実施していましたが、手術などで医師の手が離せない場合に、患者さんにとってタイムリーな処置ができない場面が出てきます。そのような場面で、看護師が自分の判断で実施できることを増やしたものが「特定行為」です。特定行為の内容は下記の表をご参照ください。

医師に負担が集中しないように分業を行い、地域の患者さんに対し、安心安全で効果的な医療を提供することを目標として頑張ります。どうか宜しくお願いします。

特定行為及び特定行為区分(38行為21区分)

特定行為区分	特定行為	特定行為区分	特定行為
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口気管チューブ又は経鼻気管チューブの位置の調整	創傷管理関連	褥(じよく)瘡(そう)又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖療法
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	透析管理関連	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正
循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理 一時的ペースメーカーの抜去	感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
	経皮的肺補助装置の操作及び管理 大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助頻度の調整	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
心臓ドレーン管理関連	心臓ドレーンの抜去	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び設定の変更 胸腔ドレーンの抜去		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整 抗けいれん剤の臨時の投与 抗不安薬の臨時の投与
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は膀胱ろうカテーテルの交換	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗精神病薬の臨時の投与 抗不安薬の臨時の投与
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	皮膚損傷に係る薬剤投与関連	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入		

厚生労働省令第33号(平成27年3月13日)



第72回 国立病院総合医学会に参加して



2階病棟 看護師 恩田 香

11月9、10日に行われた第72回国立病院総合医学会に参加しました。初日は筋ジストロフィー医療～高い専門性と連携のこれまでとこれから～についてのシンポジウムを聴講しました。その中でNH0医王病院の方が高い専門性を持った看護師育成の試みと課題について発表されていました。筋ジスの院内認定看護師の活動内容や院内認定看護師が認めた病棟の匠ナースの存在があり、若いスタッフを育成するシステムについて紹介されました。当院も匠ナースみたいなシステムを導入することで、若いスタッフが自分の看護に自信を持ち、その自信がやりがい感につながるのではないかと思います。2日目は自身の「A病院の筋ジストロフィー病棟（小児科）に勤務する看護師の葛藤について明らかにする」についてポスター発表を行いました。発表後にフロアーの方から共感できるという言葉をかけてもらい、他の病院も同じような葛藤を抱きながら働いておられると感じることが出来、改めてこの看護研究に取り組み、たくさんの方に協力して頂き国立病院総合医学会で発表することが出来た事に感謝したいと思います。



3階病棟 看護師 吉澤 葉子

本学会では倫理をテーマとしたセッションの中で、多くの病院病棟でスタッフの意識向上を目的とした研究発表がありました。当病棟と通ずる内容が多く、改めてその重要性を考えさせられる機会となりました。中でも「重症心身障がい児病棟のスタッフのケアに関する倫理観」という研究結果の中で、「学習会後のカンファレンスでは抑制について必要性をその都度アセスメントして実施するなど一人ひとりの個性性を考慮した意見へ変化した」とあり、倫理を考える際にも個性性を考慮することが重要であることが分かりました。学会のメインテーマでもある「多様性の中の個」という、患者さん一人ひとりに相応しい「個別化医療」実践のため、我々医療者が連携しセーフティネットとして機能していくことの大切さを改めて学ぶ機会となりました。

この度の学びを生かし、当病棟においても引き続き勉強会等を通し私たちスタッフの意識向上に取り組んでいきたいと思えます。



3階病棟 看護師 佐藤 百美

11月8・9日に第72回国立病院総合医学会が神戸市の国際展示場で行われました。私は「鎮痛薬を使用する患者さんの思い」についてインタビューし分析したものを学会で発表しました。自分の発表はとても緊張しましたが、ポスター賞をいただくことができとても嬉しかったです。学会では医療用麻薬の使用やエンドオブライフケアに関する発表など興味深いものがたくさんありました。発表を聴いて自分たちも痛みや呼吸困難などを抱える患者さんへの対応に苦慮したケースは他院でも同様だと知り、患者さんの思いを受け止めることの大切さと患者さんだけでなくご家族への支援の重要性を改めて感じました。学会に参加して自分の日々の看護を振り返る機会となりました。神戸では中華料理など美味しいものを食べてリフレッシュもできたので、今回の経験を今後の看護に活かしていきたいと思えます。



第9回 松江呼吸器セミナー

看護部 緩和ケア認定看護師
5階病棟 副看護師長 清水 里夏子

松江呼吸器セミナーは、2010年から毎年開催し、各医療従事者の立場から様々な呼吸器領域（特に呼吸不全に関する事項）の講演を行って来ました。第9回の本セミナーは「終末期呼吸不全とQOL」をテーマに、去る12月1日（土）に開催し、124名の参加があり大盛況でした。

QOL(Quality of life)とは「生活の質、生命の質」を指します。呼吸不全患者のQOLをいかに考えるかを、医療ソーシャルワーカー、看護師、理学療法士、医師の4職種で講演することとなり、数回に渡り打ち合わせを重ねましたが、その都度ヒートアップしてしまいました。演者各々が患者のQOLをいかに考えるか熱く語り合ったからです。同じ医療従事者とはいえ、専門性や提供できるもケア、考え方も違います。だからこそ同職種内でチームを結成し助け合い、更に多職種チームで様々な視点のアプローチが可能となるわけです。今回のセミナーの準備を通じて、QOLを皆で考えることの重要性を再認識しました。

また、セミナーの準備に当たり、緩和ケア認定看護師として慢性疾患患者さんにできることは何かを考える良い機会となりました。その方が病気を抱えながらいかに過ごしたいかを語られる環境を整え、過ごしたい場所で、過ごしたい人と生きていけるようお手伝いしたいと思います。また、そういったお話を語られる相手でいられるよう、私自身も成長していきたいと思えます。



「第153回肺疾患懇話会 特別講演会」を開催しました！

教育研修副部長 古門 千代美

去る11月7日（木）、松江エクセルホテル東急において、「第153回肺疾患懇話会 特別講演会」を開催致しました。

さて今回の「肺疾患懇話会 特別講演会」は、前座として当院呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹先生により「その咳に イタイコトのあふれけり」と題し講演を行いました。カタカナ混じりの俳句調のテーマに、みなさん“何の話なんだろう？”と興味を持たれたのではないのでしょうか。先生の過去の診療の中から貴重な咳に関する症例についての経験を報告されました。

続いて特別講演では、広島アレルギー呼吸器クリニック八丁堀 院長 春田吉則先生による「クリニックにおける喘息診療の工夫」と題してご講演いただきました。先生はアレルギー疾患がご専門で、過去にも肺疾患懇話会でご講演いただいておりますが、12月には御自身の医院開設を控えておられるお忙しい中ご快諾いただきました。近年「咳」に悩む患者さんは多く、喘息診療をテーマとした今回のご講演は大変興味深いもので、先生の豊富な診療経験におけるノウハウを聴講し、最新の知見を得ることができました。おかげさまで50名のご参加をいただき、盛会に終えることができました。



お忙しい中ご参加いただきました開業医・勤務医の先生方、また座長のご協力をいただきました副院長 矢野修一先生、統括診療部長 池田敏和先生をはじめ当院職員の方々に心から感謝申し上げます。今回の第153回肺疾患懇話会は、今年最後の講演会で、また平成最後の特別講演会でした。皆様のご支援により無事に終えることができ安堵しているところです。

年もあけ、平成31年を迎えました。本年も変わりませず、「肺疾患懇話会」をどうぞよろしくお願い致します。



火災避難訓練を実施しました

庶務班長 星原 昌美



平成30年10月29日(月)に消防法施行規則第3条第10項による火災避難訓練を実施しました。夜間に3階病棟衣類庫から出火という想定で行いました。

夜間想定では限られた人数で短時間のうちに通報・連絡、初期消火活動、患者さんの避難などをしなくてはなりません。初めて訓練に参加された方も多く、動作が少々ぎこちないところも多くみられました。

立ち会いされた松江南消防署が「訓練の経験を他のスタッフに引き継いでほしい。」と言われたとおり、訓練でやらなければならないことや気がついたことは訓練に参加しなかった職員にも共有する必要があると感じました。また、スムーズに消火活動と避難活動ができるようになるためには繰り返し訓練を行う必要があると思いました。普段使うことがない消火器の使い方もいざというときに備えるためにも一人でも多くの職員に経験してほしいと思いました。

今後も患者さまと職員の安全を守るために努めたいと思います。





クリスマスコンサート



看護部広報委員 5階病棟 看護師 渡辺 結衣

12月18日当院にてクリスマスコンサート2018を開催しました。約100名の参加がありました。コンサートは3部構成で行い、第1部は看護師広報委員によるハンドベル演奏で「きよしこの夜」と「星に願いを」を演奏しました。失敗もありましたが演奏に合わせて口ずさんだり、合いの手を打っていただき温かい雰囲気になりました。第2部は病院職員によるピアノ演奏、オカリナ演奏を行いました。綺麗な音色に素敵な演奏でとても癒されました。クリスマスの曲や昔懐かしい曲で患者さんやご家族からは「選曲がすごくよかった」や「楽しい会だった」と笑顔溢れる会となりました。第3部では会場の皆さんとクリスマスの曲を合唱し、楽しい時間を過ごすことができました。入院中はなかなか季節感を感じられる機会が少ないですが、このような会で少しでも季節を感じていただくことができたのではないかと思います。

今後も看護部広報委員会では、年間を通して様々なイベントを企画・運営しています。看護の日やサマーコンサートなど、季節に合わせた行事を行っていく予定です。

多くの方の参加をお待ちしています。





車いすサッカー



療育指導室 児童指導員 和田 勇貴



11月23日(金)に島根県立松江農林高校で開催された収穫祭に当院の電動車いすサッカーチーム「松江コンビック」のメンバーが参加してきました。

収穫祭への参加は、今回で5回目になります。収穫祭は、農林高校の生徒達が作った野菜やお花

を売っていたり、様々な活動を報告したりと毎年賑わっています。その中で体育館の一角を使用させてもらって、当院の電動車椅子サッカーの活動を紹介させてもらっています。

収穫祭までには、事前に松江農林高校のサッカー部の生徒さん達が当院に来てくださり、打ち合わせや練習を一緒に行いました。当日は、電動車椅子サッカーのことや日々の活動を紹介し実際に練習で行っている、スラローム(コーンの間をドリブルで進む)やパス、シュートを披露しました。上手くスラロームやシュートができると観客の皆さんから歓声や拍手が起こり、盛り上がった会場で紹介をすることができました。また、来場者の方々に実際に電動車椅子に乗車してもらい、スラロームなどの体験会も実施しました。

松江コンビックのメンバーは普段、病院外の人と交流することが少ないため、収穫祭は毎年とても良い刺激になっており、電動車椅子サッカーを様々な人に知ってもらう機会になっています。今後も松江コンビックが盛り上がるような活動を行っていきたいと思います。



松江を駆ける

何でしょう、この変わった池は！そうです、ここは当院から自動車ですら10分ほどにある八重垣神社の「鏡の池」です。池に沈んだ紙のようなものは占用紙で、10円か100円硬貨を乗せて浮かべて恋愛、結婚などの縁を占います。十五分以内で沈めば縁が早く、三十分以上で沈めば縁が遅く、近くで沈むと身近な人、遠くで沈むと遠方の人とご縁があると伝えられています。そのほかにも色々な縁や願い事も占うことができます。出雲地方には出雲大社以外にも有名な神社が多いので一度足を運んではいかがでしょうか。

庶務班長 星原 昌美



転倒防止

医療安全管理係長 **小林 里美**



当院では、昨年度195件の転倒・転落が報告されています。外来患者さんでは、移動時の転倒や、駐車場の車止めに躓いての転倒が多く、病棟では、トイレに行こうとして転ぶ、ベッドから立ち上がった時に、尻もちをつく等が多く発生しています。寒い時期になると、圧雪や溶けた雪の水分で滑ることが多くなります。家の中でも、睡眠薬を服用している方は、夜中にトイレに行き転倒することが多くなります。

転倒を防止するために・・・

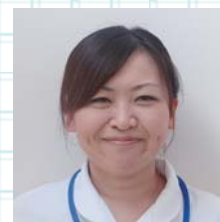
1. 立ち上がってすぐに歩き出さない。姿勢を整えてから歩き出す。
(前傾姿勢は、前向きに勢いがついてバランスを崩す)
2. 歩きながら振り向かない。立ち止まってから振り返る。
(バランスを崩して倒れるので、背後から声をかける時は注意が必要)
3. 雪道は、滑りにくい靴を履く。
(靴底に滑り止めがついた靴がよい。靴底の溝が深いタイプは、雪が挟まりかえって滑りやすくなるので注意！)
4. 転びやすい人は、手すりを利用する。手すりに掴まって歩く。



高齢者は、転んだ2～3ヶ月後に硬膜下出血を起こすことも多いので、しゃべりにくさや、片側の手足の脱力が見られたら、過去の転倒の影響かもしれません。

インフルエンザ対策でできること

感染管理認定看護師 **森山 由美子**



インフルエンザが流行する時期になってきました。皆さん、ワクチン接種はされましたでしょうか？松江医療センター職員は、11月ワクチン接種を終え、ポスター等で注意喚起をし、手指衛生・体調管理を呼び掛け、毎年本番（1月～3月）に備えています。

インフルエンザの予防といえば、「ワクチン」「手洗い」「うがい」「マスク」など…が思い浮かぶと思いますが、発症する前日から感染力があるということを皆さんご存知でしょうか。そのため、症状を自覚して受診したときには、すでに周囲の方うつしている可能性があります。また、生活空間を共にする場合は特にその可能性が高いといえます。

この周囲にいる方々を「発症者予備軍」とすると、この方たちがさらなる感染源とならないような対策が必要となってきます。家庭内であれば、感染経路を完全に遮断することは困難ですが、「発症者予備軍」となってから5日程度は「インフルエンザを発症する可能性がある自分」を自覚し、自身の体調の変化に注意が必要です。そして、周囲の大切な方にうつさないよう予防行動を意識してとれると良いですね。

皆さんと周囲の方々が、今シーズンも健康に過ごせることをお祈りしております。

松江医療センター 呼吸器病センター

出前講座のご案内

松江医療センターでは、健康啓発を目的としてスタッフによる出前講座を無料で行っています。皆様の職場、学校、公民館などに出向き、各分野の専門性を活かして医師、認定看護師、 コメディカルが講演いたします。

テーマ	時間	実技・講演	講師
禁煙	60分	講演	医師
C O P D	60分	講演	医師
肺癌	60分	講演	医師
結核	60分	講演	医師
間質性肺炎	60分	講演	医師
気管支喘息	60分	講演	医師
誤嚥性肺炎	60分	講演	医師
肺がんの早期発見・早期治療	60分	講演	医師
認知症 (ものわすれ)	60分	講演	医師
パーキンソン病 パーキンソン症候群	60分	講演	医師
手のふるえ	60分	講演	医師
呼吸機能検査のすすめ	20～30分	講演	検査科職員
感染症検査(結核・ウイルス性・感染等)	20～30分	講演	検査科職員
肺疾患に関わる検査	20～30分	講演	検査科職員
～食欲のない時に～ 病院の人気メニュー教えます	20分	講演	管理栄養士
～食欲のない時～ 補助食品について	20分	講演	管理栄養士
パーキンソン病のリハビリテーション	60分	実技・講演	理学療法士
「タバコ肺」に負けない！体操と呼吸法	60分	実技・講演	理学療法士 呼吸療法認定士
介護保険申請について	60分	講演	ソーシャルワーカー
安全においしく食べるために ～お家でできる摂食嚥下リハビリ～ (お口のケアを含めて)	60分	実技・講演	摂食嚥下認定看護師
おうちでできる栄養サポート ～元気でおいしく食べるための健康づくり～	60分	実技・講演	摂食嚥下認定看護師
インフルエンザについて ・インフルエンザに関する全般的なおはなし ・ワクチンのおはなし	60分	講演	感染管理認定看護師
食中毒について	60分	講演	感染管理認定看護師
感染症に関するお悩み相談	60分	講演	感染管理認定看護師
今増えています！在宅酸素療法について知ろう	60分	講演	慢性呼吸器疾患看護認定看護師
息切れ…これってホントに高齢のせい？ ～息切れの原因と予防法について	60分	実技・講演	慢性呼吸器疾患看護認定看護師
肺がん抗がん剤治療と副作用対策	60分	講演	がん化学療法看護認定看護師
認知症って何？ ～身近におられる認知症の方との接し方のこつ～	60分	講演	看護師(認知症キャラバンメイト)

ご要望がございましたら下記へご連絡ください。

国立病院機構 松江医療センター
地域医療連携室
TEL : 0852-24-7671



開業医紹介コーナー

病病・病診連携 No.24

胃腸科内科田中医院

皆さんこんにちは。いつも貴院には多くの紹介を受けていただき、本当に感謝しております。

私は旭川医科大学を卒業後、鳥取大学第二内科に入局、消化器内科を中心に県内五カ所の病院で研鑽を積み、H25年に実家の医院へ戻りました。

院長継承後のH29年春には医院を新築移転し、同じく消化器内科の家内と共に、一般内科診療や、上下部内視鏡、超音波検査のほか、午後には特養や有料老人ホーム、或いは患者への訪問診療も行います。ただ田舎が故に外傷や膀胱、蜂刺され、骨折や発疹等での来院もあるため、幅広く地域の方々にも頼られる医院であるよう精進していきます。

貴院とは診療、各種研修会などを通じた病診連携を引き続きお願い申し上げます。

院長 田中新亮 医師 田中志乃、田中三雄



当院は豪華列車「瑞風」も停まるJR穴道駅から徒歩2分、山陰合銀の裏隣で松江市穴道支所近隣にあり、駐車場も13台分確保しています。



胃腸科内科田中医院

☎ (0852) 66-0022

〒699-0401 松江市穴道町穴道946-1

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 3:00~6:00	○	○	△	○	○	△

休診日 日曜祝祭日・水及び土曜の午後

地域医療連携室だより 第33号

2019年 1月

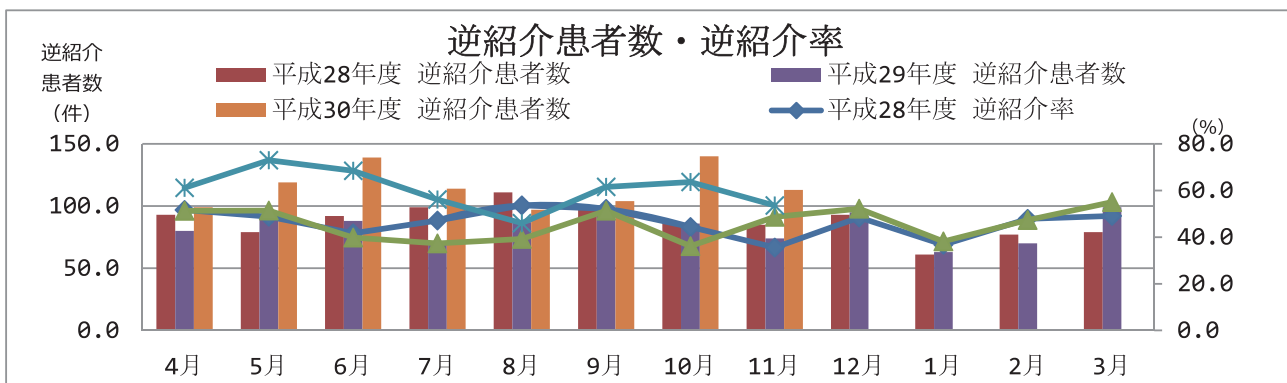
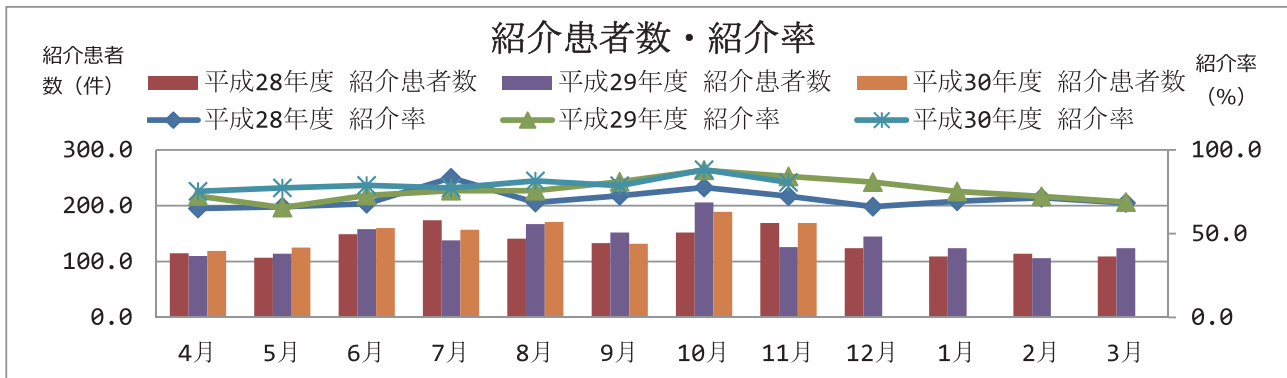


【時間外の対応について】

呼吸器疾患で緊急にご紹介いただく患者さまに
つきましては**24時間対応**させていただいておりますので
夜間・休日に関わらず下記にご連絡ください。

☎0852-21-6131 (代表) または 0582-24-7671 (地連)

1. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移








































2.退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者 (人)		183	198	213	207	220	214	235	230				
退院先	在宅 (人)	114	133	128	131	122	121	120	112				
	施設 (人)	4	1	6	6	4	1	2	6				
	病院 (人)	7	9	9	10	9	6	16	9				

※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させて頂いた患者さんの割合です。

逆紹介率=逆紹介患者数÷初診患者数(休日、夜間の救急患者数を除く。)

国内最大級の病

132.熊本再春荘病院 	120.大牟田病院 	103.東広島医療センター 	95.米子医療センター 	88.兵庫あおの病院 	81.京都病院 	74.教習医療センター 	67.東名古屋病院 					
133.大分医療センター 	121.福岡東医療センター 	104.賀茂精神医療センター 	96.松江医療センター 	89.兵庫中央病院 	82.大阪医療センター 	75.あわら病院 	68.東尾張病院 					
134.別府医療センター 	122.佐賀病院 	105.関門医療センター 	97.浜田医療センター 	90.奈良医療センター 	83.近畿中央胸部疾患センター 	76.東近江総合医療センター 	69.豊橋医療センター 					
135.西別府病院 	123.肥前精神医療センター 	106.山口宇部医療センター 	98.岡山医療センター 	91.やまと精神医療センター 	84.刀根山病院 	77.紫香楽病院 	70.三重病院 					
136.宮崎東病院 	124.東佐賀病院 	107.岩国医療センター 	99.南岡山医療センター 	92.南和歌山医療センター 	85.大阪南医療センター 	78.京都医療センター 	71.鈴鹿病院 					
137.都城医療センター 	125.嬉野医療センター 	108.柳井医療センター 	100.呉医療センター 	93.和歌山病院 	86.神戸医療センター 	79.宇多野病院 	72.三重中央医療センター 					
138.宮崎病院 	126.長崎病院 	116.小倉医療センター 	101.福山医療センター 	94.鳥取医療センター 	87.姫路医療センター 	80.舞鶴医療センター 	73.柘原病院 					
139.鹿児島医療センター 	127.長崎医療センター 	117.九州がんセンター 	102.広島西医療センター 					58	57			
140.指宿医療センター 	128.長崎川棚医療センター 	118.九州医療センター 						60	61			
141.南九州病院 	129.熊本医療センター 	119.福岡病院 						75	74			
142.沖縄病院 	130.熊本南病院 							80	79			
143.琉球病院 	131.菊池病院 					88	89					
							78	77				
							84	83				
							86	85				
							90	91				
							93	92				
							98	97				
							100	101				
							102	103				
							104	105				
							106	107				
							108	109				
							110	111				
							112	113				
							114	115				
							116	117				
							118	119				
							120	121				
							122	123				
							124	125				
							126	127				
							128	129				
							130	131				
							132	133				
							134	135				
							136	137				
							138	139				
							140	141				
							142	143				

院ネットワーク

The map shows the following regional distribution of hospitals:

- Hokkaido (Purple):** 1. 北海道がんセンター, 2. 北海道医療センター, 3. 函館病院, 4. 旭川医療センター, 5. 帯広病院, 6. 八雲病院, 7. 弘前病院, 8. 八戸病院, 9. 青森病院, 10. 盛岡病院, 11. 花巻病院.
- Tohoku (Blue):** 12. 岩手病院, 13. 釜石病院, 14. 仙台医療センター, 15. 仙台西多賀病院, 16. 宮城病院, 17. あきた病院, 18. 山形病院, 19. 米沢病院, 20. 福島病院, 21. いわき病院, 22. 水戸医療センター, 23. 釜ヶ浦医療センター, 24. 茨城東病院, 25. 栃木医療センター, 26. 宇都宮病院, 27. 高崎総合医療センター, 28. 沼田病院, 29. 渋川医療センター, 30. 西埼玉中央病院, 31. 埼玉病院, 32. 東埼玉病院, 33. 千葉東病院, 34. 千葉東病院, 35. 下総精神医療センター, 36. 下志津病院, 37. 東京医療センター, 38. 災害医療センター, 39. 東京病院, 40. 村山医療センター, 41. 横浜医療センター, 42. 久里浜医療センター, 43. 箱根病院, 44. 相模原病院, 45. 神奈川病院, 46. 西新潟中央病院, 47. 新潟病院, 48. さいがた医療センター, 49. 甲府病院, 50. 東長野病院, 51. まつもと医療センター-松本病院, 52. まつもと医療センター-中信松本病院, 53. 信州上田医療センター, 54. 小諸高原病院, 55. 富山病院, 56. 北陸病院, 57. 金沢医療センター, 58. 医王病院, 59. 七尾病院, 60. 石川病院, 61. 長良医療センター, 62. 静岡てんかん・神経医療センター, 63. 静岡富士病院, 64. 天竜病院, 65. 静岡医療センター, 66. 名古屋医療センター, 67. 小笠原病院, 68. 小笠原病院, 69. 小笠原病院.

外来診療表

お気軽にご相談下さい

診療科	曜日	月	火	水	木	金	専門領域	
呼吸器内科		岩本(初)	多田(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 矢野 修一 池田 敏和 小林 賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 多田 光宏 岩本 信一 西川 恵美子 坪内 佑介 【副院長】呼吸器一般(肺循環・肺がん・結核他) 【統括診療部長】呼吸器一般	
		多田	小林	岩本	西川	木村		呼吸器一般
		矢野	門脇	池田	坪内	小林		呼吸器一般
循環器内科						生馬	呼吸器一般	
神経内科		中島	古和	深田	足立	交替制	呼吸器一般	
			下山		細田		呼吸器一般	
呼吸器外科		荒木		目次		荒木	呼吸器一般	
		大野				大野	呼吸器一般	
小児科	発達専門外来	久保田	齋田	齋田	久保田	齋田	【循環器内科】 生馬 勲 【神経内科】 中島 健二 足立 芳樹 古和 久典 細田 義人 下山 良二 深田 育代	
		(予約)	久保田(予約)	(予約)	久保田(予約)	(予約)		循環器一般
	予防接種		(予約)				【院長】神経内科 【臨床研究部長】神経内科 【診療部長】神経内科 神経内科・リハビリテーション 神経内科 神経内科	
腰痛外来				西村(予約)			【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 大野 貴志 【小児科】 齋田 泰子 久保田 智香 【麻酔科】 西村 友紀子	
						【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科		
特 殊	睡眠時無呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田 智香 【麻酔科】 西村 友紀子	
	息切れ外来		呼吸器内科 池田(予約)					重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
外 来	喘息アレルギー外来					池田(予約)	【麻酔科】 西村 友紀子	
	咳嗽外来					池田(予約)		麻酔科領域
外 来	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30 独立行政法人 松江医療センター 国立病院機構 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661	
	アスベスト外来		多田(予約)	木村(予約)	門脇(予約)			
	神経難病外来		下山		足立			
特 殊	もの忘れ外来			深田			Matsuo Medical Center	
	セカンドオピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		

特 殊 外 来	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,400円
	睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかダイケアでの遊戯療法も行っています。
腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。	
セカンドオピニオン外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当いたします。	